

平成17年度 文部科学省 科学研究費補助金 実績報告書

要介護者の居宅で歯科保健, 医療, 介護を
より確実にする専用機器の開発と臨床応用

野村 章子 (歯科技工士学科)

研究実績の概要

本研究は居宅や介護施設で効率よく使用できる歯科保健医療介護機器と, 安全で容易に要介護者の体位を保持できるリクライニングチェアを設計し, 試作することが目的である。

初年度は, 歯科保健医療介護器材の整備のために計上されていた学内研究費で組み立てられた訪問診療用ユニットについて, その性能を評価し, 種々の問題点が明らかにした。そこで, 当該予算を使って, 新たに歯科治療用バキュームとコンプレッサー, 歯科治療器具, 歯科保健器具, 口腔介護器具, 歯科技工用機器を購入し, さらに試作機の設計までを完了した。

コンピュータの購入に当たり, 歯科診療や口腔介護さ

らに歯科技工の行程に合わせて順次配置し, 訪問診療に適する環境を整備した。さらに, 専用の歯科用器具および材料をケースにそれぞれ収納し, 必要に応じて取り出しと収納がスムーズに行えるように工夫した。

計画当初は電動キャリアを購入予定であったが, 本体が重いために訪問診療用ユニットには不適切であることが調査結果から明らかになったので, 購入を中止して軽量で安価な車椅子の骨組みを利用する計画に変更した。

以上の研究成果は, 「新潟エリア大学発研究シーズプレゼンテーション 医療関連」新潟10月「産学交流フェア in いがた」長岡12月, 「第4回明倫短期大学学会学術大会」新潟12月において公開した。

次年度は, 平成17年度に明らかとなった問題点の改良を重ねて, 歯科訪問診療ユニット試作機の完成とする予定である。